

|   |                        |                       |
|---|------------------------|-----------------------|
| <b>科目名</b><br>成人・老年看護学実習Ⅱ   | <b>授業担当者</b><br>小田嶋 陽子 | <b>所属</b><br>中通高等看護学院 |
| <b>開講時期</b> : 中期  | <b>単位数</b> : 2 単位      | <b>時間数</b> : 80 時間    |
| <b>授業の目的</b><br>回復期にある対象や慢性疾患を抱える対象に、患者の状況に即した看護を判断し実践する能力を養う。  |                        |                       |
| <b>授業の概要</b><br>本実習は、回復期にある対象や慢性疾患を抱える対象の特徴を理解し、その人らしい生活を支える看護について学ぶ。これまでその人が生活していた家庭や社会における役割、生活習慣、価値観や心理的側面を理解することが求められる。回復期にある対象への看護を通して、変化した身体機能に合わせた日常生活行動の獲得やセルフケア獲得に向けたアプローチ方法を学ぶ。慢性疾患を抱える対象への看護を通して、疾病と上手につき合い、その人らしい生活や生き方を実現していくことを支援するアプローチ方法を学ぶ。また、対象への医療チームアプローチの実際を知ることで、チームにおける看護の役割・機能について理解を深めることができる。 |                        |                       |
| <b>受講上の注意・事前学習の内容</b><br>注意点・事前学習の内容は、実習要綱・実習ガイダンス参照。   |                        |                       |
| <b>授業計画</b><br>1. 日程・実習場所はガイダンス用紙に準じる。<br>2. 回復期にある、または慢性疾患を抱える、成人期または老年期の患者を受け持つ。<br>3. 看護計画に基づいて毎日の行動目標・行動予定を立て、実践する。<br>4. 実習内容と学びを日々のカンファレンスで交流する。<br>5. 受け持ち期間中の看護計画と実践を評価カンファレンスで検討する。<br>6. 実習ポートフォリオを用いて、実習で獲得したことや学びをプレゼンテーションし合い、知の共有をする。   |                        |                       |
| <b>テキスト</b><br>系統看護学講座 専門 呼吸器 医学書院<br>系統看護学講座 専門 脳・神経 医学書院<br>系統看護学講座 専門 運動器 医学書院<br>系統看護学講座 専門 腎・泌尿器／内分泌・代謝 医学書院   |                        |                       |
| <b>参考書・指定図書</b><br>ブックライブラリー 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図 医学書院<br>系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅱ 医学書院<br>ブックライブラリー 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院<br>看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版 メディックメディア  |                        |                       |
| <b>評価の方法</b><br>成人・老年看護学実習Ⅱ 評価表に沿って評価する。  |                        |                       |

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります